

# 電線業界の取り組みと 電線版ガイドンス第5版の改訂内容説明

電線業界製品含有化学物質対応説明会  
2012年1月26日(東京会場)  
2012年2月7日(大阪会場)

JCMA 社団法人 日本電線工業会  
The Japanese Electric Wire & Cable Makers' Association

JECTEC  
Japan Electric Cable Technology Center

一般社団法人 電線総合技術センター  
Japan Electric Cable Technology Center

# 目次

---

- (1) 電線業界における製品含有化学物質の取り組み
- (2) 電線版ガイダンス(第5版)の改訂内容
- (3) JAMP AISの概要と作成手順<sup>(注)</sup>
- (4) (参考資料)フタル酸系可塑剤の規制情報

(注)作成手順に掲載の製品事例は、説明用に作成したものであり、実在する製品に関する情報ではありませんので作成方法の参考にする以外の目的で使用しないで下さい。

本文中に記載の「ガイダンス」「マニュアル」はそれぞれ下記の文書を意味します。

ガイダンス:電線技22第43号「製品含有化学物質の管理及び情報伝達・開示に関するガイダンス  
－電線・ケーブル版－(第5版)」

マニュアル:電線技22第44号「上記ガイダンス附属書 AIS作成マニュアル(第5版)」

# 電線業界の製品含有化学物質対応組織

**(社)日本電線工業会(JCMA)** (正会員126社・1団体、賛助会員20社・3団体)

電線関連事業者の業界団体

環境技術委員会 (2009年度組織改編)

環境配慮設計小委員会

化学物質対応小委員会

環境荷造り検討小委員会

RoHS、REACH等の海外法規制および  
改正化審法等の国内法規制対応  
(会員社へ指示連絡、関連省庁/川上・川下  
関連業界への対応)

連携  
共創

**(一社)電線総合技術センター(JECTEC)** (会員69社、賛助会員31社)

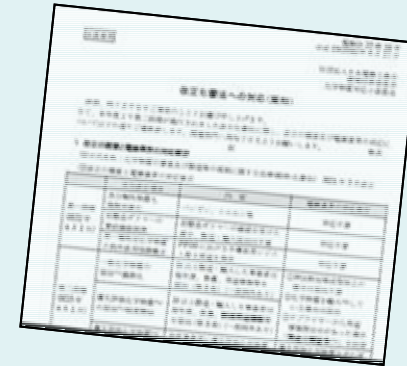
電線の安全性・信頼性に関する試験、検査認証及び研究、被覆材料のリサイクル等環境対応技術の調査研究を目的として  
電線製造業及び電線関連各社によって設立された一般社団法人

化学物質規制調査研究会 (2007年発足、2011年度改名)

国内外法規制および業界基準等の調査と、内容検討および対応提言

## 2011 (H23)年度の主な活動内容

- 1 改正化審法(4/1第二段階施行)  
工業会会員に周知文書発行  
(ホームページ(会員専用ページ)公開)

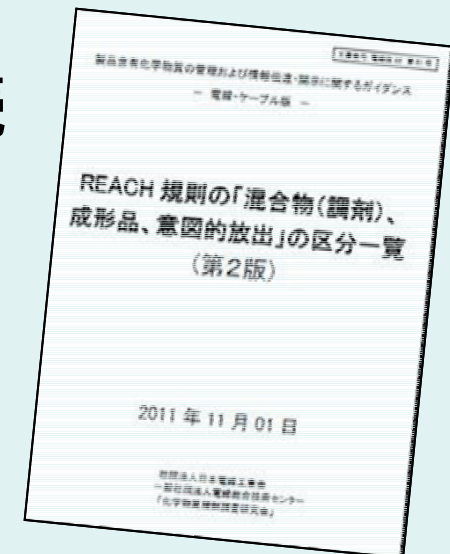


- 2 改正RoHS(7/1公布)  
経済産業省「改正RoHS関連業界合同勉強会」参加  
(資料は経済産業省ホームページに公開)

[http://www.meti.go.jp/policy/chemical\\_management/int/RoHSrev.html](http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/int/RoHSrev.html)

- 3 フタル酸系可塑剤規制(REACH他)  
日本可塑剤工業会と情報交換会継続

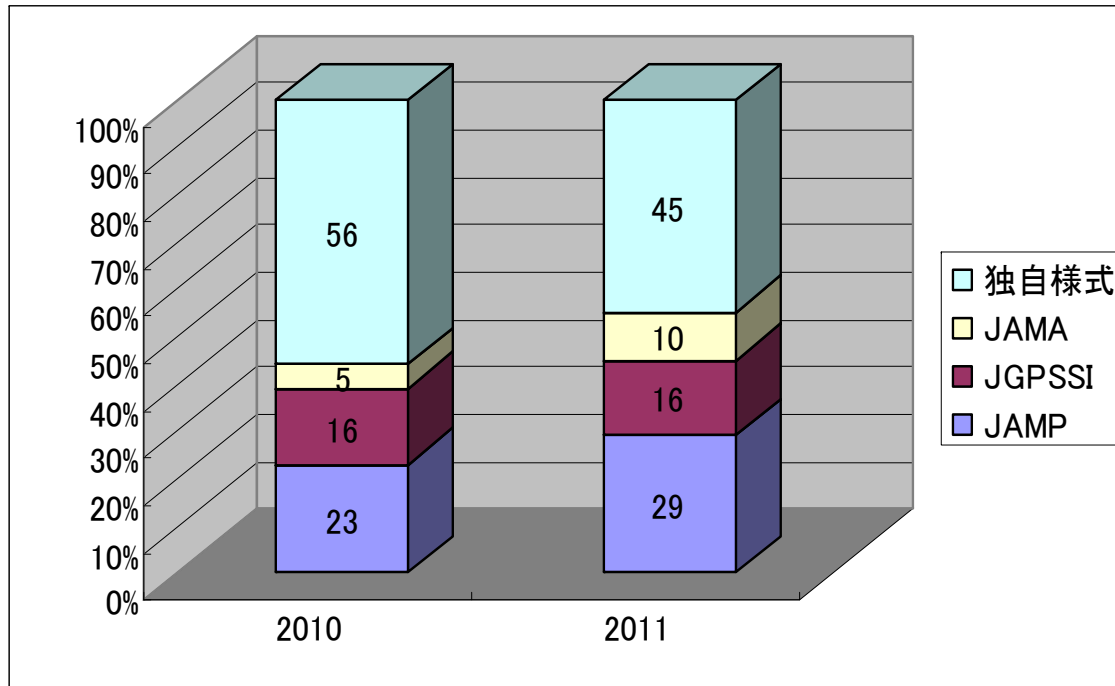
- 4 REACH  
ECHA成形品ガイダンス改訂等に  
伴い電線版ガイダンス改訂、説明会  
(資料はJECTECホームページ公開)



# 電線工業会会員社アンケート結果概要(1)

## 川下ユーザーからの依頼様式比率

128社中57社から回答(回収率45%)



### 特記

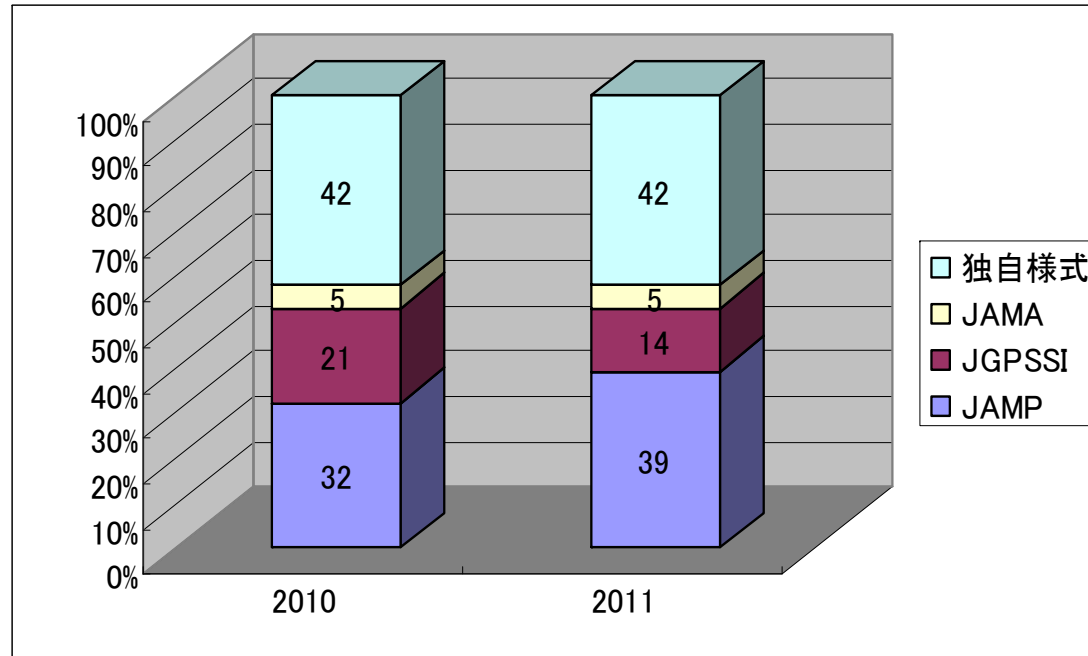
- (1) 単独様式でなく組合せの依頼も多い。
- (2) 証明書の要求も多い  
(RoHS、SVHC、VOC、アスベスト等の不使用証明書等)
- (3) 分析データの要求もある。  
(RoHS、ハロゲン、フタル酸系可塑剤等)

### 川下ユーザー対応での支障経験 (YES 60%、NO 40%)

- (1) 納期に余裕がない、川上からの回答に時間がかかり間に合わない等
- (2) 特殊様式対応(農薬、毒劇法、安衛法等)、分析データ要求、不含有保証  
全成分開示要求等

## 電線工業会会員社アンケート結果概要(2)

### 川上メーカーへの依頼様式比率



#### 特記

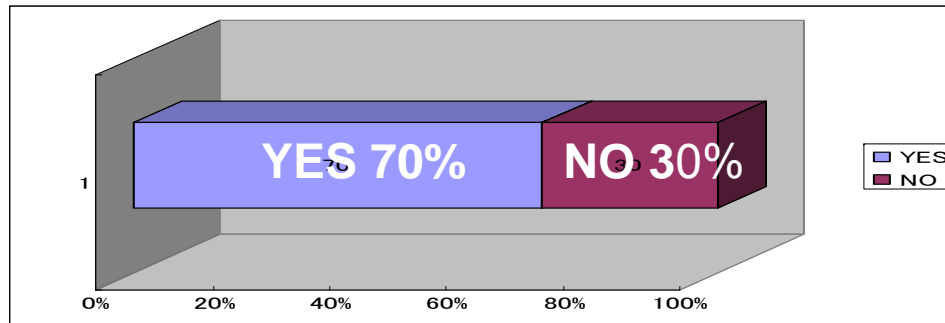
(1) 顧客独自様式で依頼を受けた場合はその様式で依頼。  
(証明書要求の場合は証明書を依頼)

#### 川上メーカーへの情報収集依頼での支障経験(YES 51%、NO 49%)

- (1) 情報伝達様式の理解不足、回答精度不足(特に中小、海外)
- (2) 回答入手に時間を要す(特に海外)
- (3) 依頼と異なる様式で回答(旧バージョン、全ての物質に回答がない等)

## 電線工業会会員社アンケート結果概要(3)

### 電線版ガイダンスに基づく対応



- (1) 準拠しない理由  
顧客要求と異なる等 70%
- (2) 支障事例  
物質追加対応、フォーマット入力

### 今後の説明会での希望内容(複数回答)

- (1) 各国法規制は業界標準の最新動向(41件)
- (2) 化学物質管理の基礎知識(26件)
- (3) 具体的な事例を用いた実践講座(22件)
- (4) 電線版ガイダンスの内容説明(21件)
- (5) その他(6件)

川上・川下企業の取組、川下企業のJAMP採用情報、海外メーカーからの情報収集等

### REACH規則対応での工業会への要望

- (1) 情報提供(7件) 海外調達先への資料、SVHC候補先取り情報、各国規制情報
- (2) 業界間活動(5件) 様式統一活動、情報交換活動
- (3) その他(3件) ミニマムリストの充実、回答雛形・事例集

## 課題と今後の活動

---

### 1 改正RoHS指令対応

#### (1) 課題

- ① CEマーク表示対応 (2013年1月～)
- ② 遵守管理の厳格化 (2013年1月～)
- ③ 電線単体への適用 (カテゴリー11?、2019年?)

#### (2) 対応

- ① 経済産業省「改正RoHS関連業界合同勉強会」継続参加
- ② 国内外関連団体と連携、情報入手と会員への発信

### 2 フタル酸系可塑剤規制 (REACH、RoHS見直し、その他の国)

- ① 日本可塑剤工業会他国内外関連団体と連携強化  
情報入手と会員への発信

### 3 各国版RoHS、各国版REACH等規制の広がり

- ① 国内外関連団体と連携強化、情報入手
- ② 委員会による情報解釈と会員への情報配信迅速化



# 目次

---

- (1) 電線業界における製品含有化学物質の取り組み
- (2) 電線版ガイダンス(第5版)の改訂内容**
- (3) JAMP AISの概要と作成手順
- (4) (参考資料)フタル酸系可塑剤の規制情報

# 電線版ガイダンスの概要

## 沿革

2008年11月 初版発行

「製品含有化学物質の管理及び情報伝達・開示に関するガイダンス  
－電線・ケーブル版－」（REACH規則への電線業界統一ガイダンス）

2009年 3月 第3版発行

業界団体が作成したガイダンスとして、初めてのJAMP推奨を取得

2010年10月 第4版発行

2012年 1月 第5版発行 JAMPVer.4メジャー改訂への対応

## 構成（本体＋付属書）

[本体] REACH規則への電線業界統一対応**ガイダンス**

化学物質情報伝達の基本的な対応指針をまとめたもの  
基本姿勢、対応手順、用語解説、など

[付属書] AIS作成**マニュアル**

JAMPの「AIS作成手順書」と「入力支援ツール説明書」に  
基づき、電線業界用必要部分を再編したもの

## 適用範囲

---

### 適用対象製品

電線・ケーブルおよびその加工品

- ・電線・ケーブル
- ・コネクタ付きコード
- ・ワイヤーハーネス(組み電線)

[特記1: 原材料、部材等を単独で欧州に輸出するような場合]

原材料、部材等を単独で欧州に輸出するような事例は**適用範囲外**であり、**個別に各社で対応していただく。**

[特記2: 梱包材について]

梱包材については**適用範囲外**であり、JAMPガイダンス「製品含有化学物質の管理および情報伝達・開示に関するガイダンスー輸送包装ー」を参考に、**個別に各社で対応していただく。**

(ガイダンス P1 2項)

## 基本姿勢(1)

---

### REACH規則の成形品に含有される化学物質の 情報伝達に関する電線業界としての基本姿勢

- ①材料の含有物質情報は、川上メーカーから入手したMSDS、**MSDSplus**および**AIS**の記載情報とする。
- ②川下ユーザーからの要求対しては、**AIS**を用いて回答する。
- ③川下ユーザーの要求の有無によらず、物質の含有を確認する分析は原則として行なわない。

(ガイダンス P2 5項)

## 基本姿勢(2)

---

### 基本姿勢①

材料の含有物質情報は、川上メーカーから入手したMSDS、**MSDSplus**および**AIS**の記載情報とする。

- (1) 電線業界のREACH規則に関する情報伝達は、JAMP提唱の伝達様式(MSDSplus、AIS)を採用することを原則としています。
- (2) 川上メーカーから入手した情報に加え、**自社で保有、蓄積している知見を加えて**伝達して下さい。  
自社の加工で量の変化や反応による物質の変化(**塗料、接着、架橋**など)は自社の保有する知見に基づき判断して下さい。

(ガイダンス P2 5項 [解説])

## 基本姿勢(3)

---

### 基本姿勢②

川下ユーザーからの要求に対しては、**AIS**を用いて回答する。

- (1) AISを用いて回答するは原則であり、川下ユーザーからの個別の要求(JIG(JGPSSI)、GADSL(IMDS)、独自様式)には、各社判断で個別に対応して下さい。
- (2) JAMPでは「AISでの情報伝達は、環境や安全性に課題がある物質の含有情報は自ら進んで伝達する」という理念に基づいています。川上メーカーからの情報と**自社で保有・蓄積している知見などを加えて**、川下ユーザーへ伝達して下さい。

(ガイダンス P2 5項 [解説])

## 基本姿勢(4)

---

### 基本姿勢③

川下ユーザーの要求の有無によらず、物質の含有を確認する分析は原則として行なわない。

- (1)「物質の含有を確認する分析は行わず、(川上メーカーから提供された情報も含め)自社が把握している情報・知見に基づき判断して報告を行なうこと」を原則としています。
- (2) REACH規則では(非)含有の証明を求めておらず、また対象物質が非常に多いことから、現実的に分析は不可能に近いと考えられます。

(ガイダンス P2 5項 [解説])

## 第5版の主な改訂点

### ガイダンス

P2 4項	参照している規格類	現時点の最新版を記載 JAMP物質用途リスト、材質分類リスト追記
P3 6-1 解説 1)	報告対象物質	毒劇法特定毒物、POPs規則 AnnexI 追記
P4 補足	旧2)項削除 4項)削除	「附属書の組成成分情報入力対照表を参照」を削除 「物質調剤と成形品の区分は別ガイダンス参照」を削除
P5 6-3	AISの提出	提出形態を「電子データ、紙等」から 「基本的にはXMLファイル(電子データ)」に変更
P5 6-4	安全に関する情報収集	「7. その他の項目」に移動(7-3項。内容は変更なし)
P8 付表1	用語解説	POPs(残留性有機汚染物質)規則を追加

### マニュアル

- 1 「JAMP AIS入力支援ツールVer.4.0操作説明書」に基づき全面改訂  
(電線関連事項を抜粋、入力事例記載)
- 2 添付資料の「組成成分情報入力対照表」を廃止  
(AIS入力支援ツールの利便性向上により、不要になったと判断)



# ガイダンス掲載ホームページ(その1)

電線総合技術センター: <http://www.jectec.or.jp/03reach/index.html>

一般社団法人 電線総合技術センター

HOME JECTEC概要 電子公告・情報公開 アクセスMAP お問い合わせ 会員リスト ENGLISH

試験認証 技術サービス 依頼試験のお申込み手順 各種お申込み書式 対応規格一覧 研究開発 情報サービス 会員専用ページ

環境にやさしく、電線産業をサポートする JECTEC

電線・ケーブルの認証・試験・研究・情報サービス  
建材・部材の試験もできます

### 試験認証

試験認証事業は、認証業務 (JECTECが認証) と試験代行業務 (外部機関が認証) に分けられます。

- ▶ 耐火・耐熱電線認定
- ▶ 電気用品の適合性検査
- ▶ JIS 認証
- ▶ ユニットケーブル評価
- ▶ 適合性試験の代行

### 技術サービス

燃焼技術グループ・電線技術グループで電線・ケーブルに関する依頼試験や技術サポートを行っています。

- ▶ 燃焼試験
- ▶ 材料特性試験
- ▶ 電気特性試験
- ▶ 配線器具の試験
- ▶ トラブル等の原因調査

### 研究開発

電線業界のプラットフォームになるような共通の課題国家的課題について、環境分野を中心に電線・ケーブルに関する研究を行っています。

- ▶ マルチクライアント研究
- ▶ 共同研究・委託研究
- ▶ 電線ケーブルデータベース
- ▶ REACH規則関連情報
- ▶ LCA関連情報

### 情報サービス

研修会/セミナー/調査研究会による人材育成や情報交流に加え、会員社への事業支援も展開しています。

- ▶ 研修・セミナー予定
- ▶ 研修
- ▶ セミナー
- ▶ 情報・技術交流

文字サイズ 小 中 大

サイト内検索

検索

会員専用ページ

JECTEC NEWS

REACH 規則関連情報

REACH

LCA関連情報

LCA

WHAT'S NEW

2012.1.20 平成23年度 55周年記念に関する

ここをクリック

# ガイダンス掲載ホームページ(その2)

## 日本電線工業会: <http://www.jcma.jp/index.htm>

JCMA 社団法人日本電線工業会  
The Japanese Electric Wire & Cable Makers' Association

個人情報保護方針
  サイトマップ
  HOME



**MENU**

- 事業内容
- 会員会社一覧
- ニュースリリース
- 刊行物紹介
- 統計データ
- STATISTICS
- JCS・技術資料一覧
- 関連団体一覧
- 電線および電線産業
- 関係官庁からのお知らせ
- 銅建値

**日本電線工業会からのお知らせ**

**東日本大震災 関連情報 (更新 2011.6.9)**

【日本電線工業会 競争法コンプライアンス指針について】  
【競争法コンプライアンス指針に指定されている報告先・通報先について】

**WHAT'S NEW**

- 2012.1.19 [ニュースリリース](#) 更新しました。
- 2012.1.19 [会員専用ページ](#) 統計更新しました。
- 2012.1.18 [銅建値](#) 更新しました。
- 2012.1.13 [銅建値](#) 更新しました。
- 2012.1.12 [産業情報化専門委員会ホームページ](#) 更新しました。
- 2012.1.11 [会員専用ページ](#) 出荷実績検索更新しました。
- 2012.1.10 [銅建値](#) 更新しました。
- 2012.1.4 [会員会社一覧](#) 更新しました。
- 2011.12.28 [統計データ](#) 更新しました。
- 2011.12.28 [Statistics Renewed.](#)
- 2011.12.26 [刊行物紹介](#) 電線時報バックナンバー 更新しました。
- 2011.12.26 [銅建値](#) 更新しました。
- 2011.12.22 [関係官庁からのお知らせ](#) 更新しました。
- 2011.12.22 [JCS・技術資料お知らせ](#) 更新しました。
- 2011.12.22 [JCS・技術資料一覧](#) 更新しました。

[>>過去掲載分はこちら](#)

**調査系委員会関連**

-  [環境専門委員会](#)
-  [産業情報化専門委員会](#)
-  [物流専門委員会](#)
-  [安全専門委員会](#)

**技術系委員会関連**

-  [環境技術委員会](#)


**導体サイズアップ**

- ・導体サイズアップによるCO2削減と経済メリット

**REACH規則関連情報**

[REACH規則への電線業界統一対応ガイダンス\(第4版\)はこちら](#)

ここをクリック

お問い合わせ  
社団法人日本電線工業会  
〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22 コンワビル6F  
 [Info0706@jcma.jp](mailto:Info0706@jcma.jp)

# ガイダンス掲載ホームページ(その3)

## アーティクルマネジメント推進協議会 (JAMP): <http://www.jamp-info.com/dl>

**JAMP** アーティクルマネジメント推進協議会  
Joint Article Management Promotion Consortium

JAMPの紹介 入会案内 会員一覧 ツール認定企業 **ダウンロード** FAQ リンク集 セミナー等申込み

JAMP 共通形式の普及によって、サプライチェーン上の情報を、円滑・効率的に伝達します。  
\* JAMP共通形式は、[サプライチェーンパートナーシップ基本指針](#)に従い、[管理ガイドライン](#)に基づき利用してください。  
東日本大震災により、被災された皆様、そのご家族の方々に対して、心よりお見舞い申し上げます。

川上企業  
Substance 素材  
Preparation 調剤  
MSDSplus

**製品含有化学物質管理ガイドライン**

製品含有化学物質管理ガイドライン(以下、管理ガイド)はサプライチェーン全体を通して含有化学物質情報の授受が適切かつ確実なものとなるように、組織における製品含有化学物質管理のポイントをまとめたものです。扱う製品や工程、業態などによって、適切な管理の方法は異なりますので、リスクに応じた適切な管理方法を自ら検討し、実践、継続的に維持・改善することが製品含有化学物質の管理に必要です。管理ガイドは、そのためのテクニカルドキュメントであり、普遍的なものとして位置づけられています。

製品含有化学物質管理の取組みを進めている組織では、管理ガイドの示す管理のポイントの実践を確認し、必要に応じて改善することが必要です。一方新たに取組みを始める組織では、管理のポイントをふまえて、適切な形で管理の仕組みを構築することが必要です。そして、その適合度合いを自主的に判定した結果に基づいて自己適合宣言を行い自らの取組み状況とその責任を社会に対してアピールしていただきたいと考えます。

製品に含有される化学物質管理では、特にサブスタンス/プレパレーションからアーティクルへの変換工程が重

「業界団体が作成した管理ガイドラインへのリンク先」

資料名	概要
<a href="#">製品含有化学物質の管理および情報伝達・開示に関するガイダンス - 粘着テープ・粘着シート - (第1版)</a>	[公開] 2010/12/1(水) [コメント] 日本粘着テープ工業会がとりまとめた粘着テープ・粘着シートに関する製品含有化学物質の管理および情報の開示、伝達の考え方についてのガイダンスを、外部組織による作成文書の推奨手続きにしたがって、推奨するものです。JAMPが作成した他のガイダンスと同様に、製品含有化学物質管理ガイドラインの補足文書と位置づけられます。*左側の資料名をクリックすると日本粘着テープ工業会のウェブサイトで当該ファイルが閲覧できます。
<a href="#">製品含有化学物質の管理および情報伝達・開示に関するガイダンス - 電線・ケーブル版 - (第4版)</a>	[公開] 2010/10/13(水) [コメント] 日本電線工業会および電線総合技術センターがとりまとめた電線・ケーブルに関する製品含有化学物質の管理および情報の開示、伝達の考え方についてのガイダンスを、外部組織による作成文書の推奨手続きにしたがって、推奨するものです。JAMPが作成した他のガイダンスと同様に、製品含有化学物質管理ガイドラインの補足文書と位置づけられます。*左側の資料名をクリックすると電線総合技術センターのウェブサイトで当該ファイルが閲覧できます。
<a href="#">電子部品中のセラミック物質標記に関するガイダンス (第2版)</a>	[公開] 2009/05/27(水) [コメント] 電子情報技術産業協会(JEITA)電子部品部会が、円滑な情報伝達・開示の実現、実行のためとりまとめた、電子部品の構成材質としてのセラミックの情報を伝達する際の標記方法に関するガイドライン。外部組織による作成文書の推奨手続きにしたがって、製品含有化学物質管理ガイドラインを補足する関連文書として位置づけられる。*左側の資料名をクリックするとJEITAのウェブサイトで当該ファイルが閲覧できます。

ここをクリック

# 目次

---

- (1) 電線業界における製品含有化学物質の取り組み
- (2) 電線版ガイダンス(第5版)の改訂内容
- (3) JAMP AISの概要と作成手順<sup>(注)</sup>**
- (4) (参考資料)フタル酸系可塑剤の規制情報

(注)作成手順に掲載の製品事例は、説明用に作成したものであり、実在する製品に関する情報ではありませんので作成方法の参考にする以外の目的で使用しないで下さい。

本文中に記載の「ガイダンス」「マニュアル」はそれぞれ下記の文書を意味します。

ガイダンス:電線技22第43号「製品含有化学物質の管理及び情報伝達・開示に関するガイダンス  
－電線・ケーブル版－(第5版)」

マニュアル:電線技22第44号「上記ガイダンス附属書 AIS作成マニュアル(第5版)」

## AIS作成手順（その1 新規作成の場合）

---

手順1

設計書・図面・部品表などから対象製品の構造、材料、質量を把握



手順2

各材料の化学物質含有情報(MSDS、MSDSplus、AIS)を川上メーカー(サプライヤー)から入手



手順3

自社工程内での組成・化学変化を把握



手順4

製品構成部位毎に材質、化学物質のリスト作成(下書き)



手順5

AIS入力支援ツールを起動し、下書データを入力、選択追記



手順6

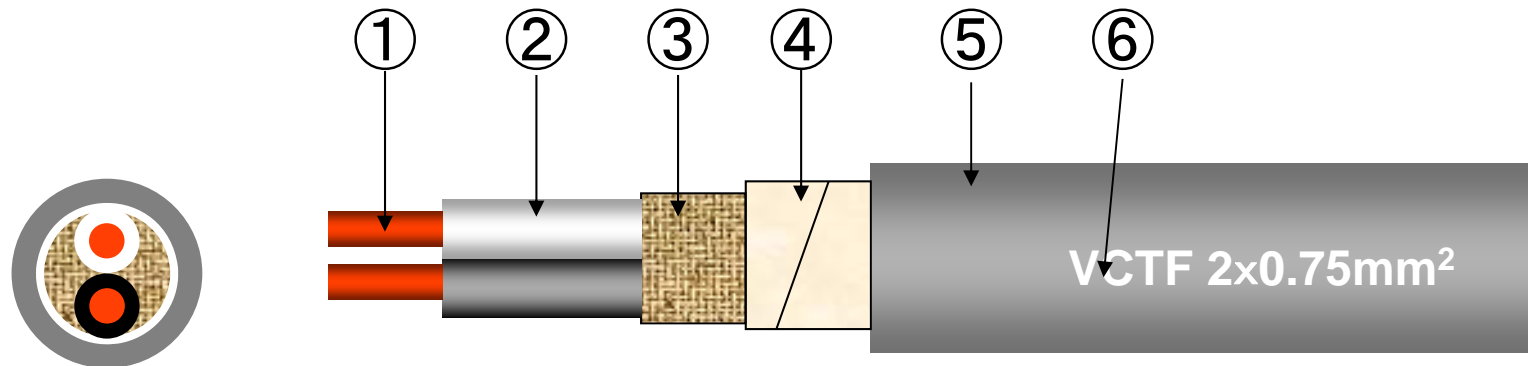
AIS入力支援ツールで自動集計シート作成とXMLファイル出力

# 手順 1

(ガイドンス P3 6-1項①)  
(マニュアル P1 1項)

設計書・図面・部品表などから対象製品の構造、材料、質量を把握

製品事例: ビニルキャブタイヤ丸形コード (VCTF 2x0.75mm<sup>2</sup> 規格: JIS C 3306)



	部位	材料	厚さ (mm)	外径 (mm)	部位質量 (g/m)	サプライヤー	自社加工
①	導体	軟銅より線 (30/0.18A)	-	1.1	14.0	A社	撚り合せ
②	絶縁体	PVCコンパウンド	0.6	2.3	9.0	B社	押出成形
③	介在	綿糸	-	4.6	5.0	C社	撚り合せ
④	テープ	紙	0.1	4.8	2.0	D社	押え巻き
⑤	シース	PVCコンパウンド	1.0	6.8	20.0	E社	押出成形
⑥	表示	インキ	-	6.8	0.0(微量)	F社	マーキング

製品質量 50.0 (g/m)

## 各材料の化学物質含有情報(MSDS、MSDSplus、AIS)を川上メーカーから入手

- (1) 化学物質含有情報を川上メーカー(サプライヤー)へ要請する際の注意点
- ① 法規制等で有害性が示されている物質を情報伝達するというJAMPの考え方への理解をお願いします。
  - ② 均質材料毎に、化学物質含有情報を報告いただくよう要請して下さい。
  - ③ 必要により、PVC(塩化ビニル(ポリマー)CAS番号9002-86-2)を任意物質として報告いただくよう要請して下さい。(注)
- (2) サプライヤー(川上メーカー)から入手したMSDSplus、AIS確認の際の注意点
- ① 最新バージョンに基づいているか。
  - ② 報告された化学物質にはCAS番号が記載されているか。

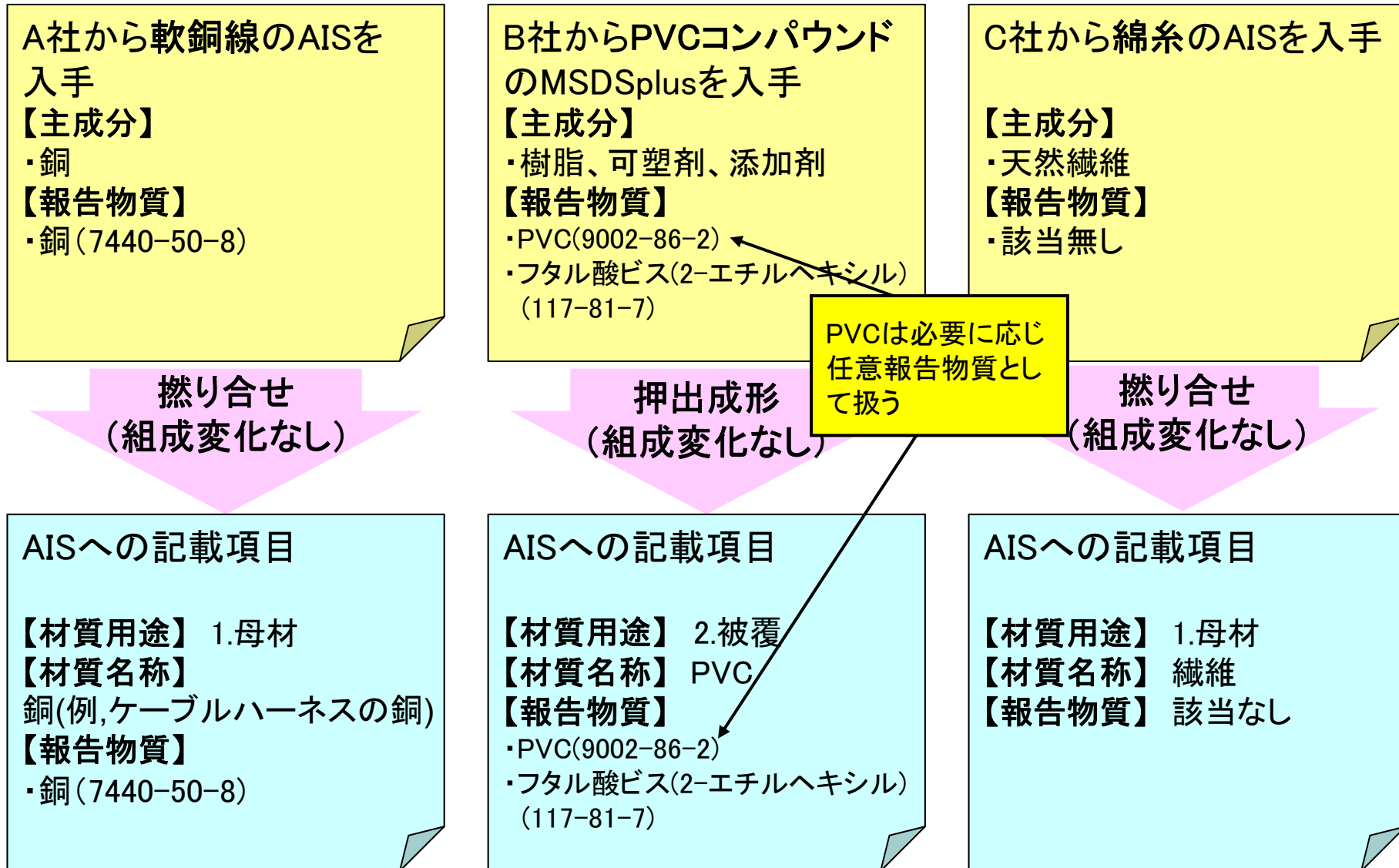
## 注:

- ① 今回の改訂(Ver.4)でPVCは管理対象物質リストから除外されました。  
AISの材質リストでの情報伝達(後述)に限定され、物質情報としては伝達されなくなりました。(MSDSplusでは伝達されません)
- ② 川下ユーザーの要求により、PVCの情報伝達が必要な場合は任意報告物質として川上メーカーへ報告いただくよう要請することが必要となりました。  
(マニュアル P16⑩、(JAMP管理対象物質Ver.3.000説明書 P5/12 7)項、P10/12 4-5項)

# 手順 3(1)

(ガイダンス P2 5項解説4) )  
(ガイダンス P3 6-1項)

## 自社工程内での組成・化学変化を把握

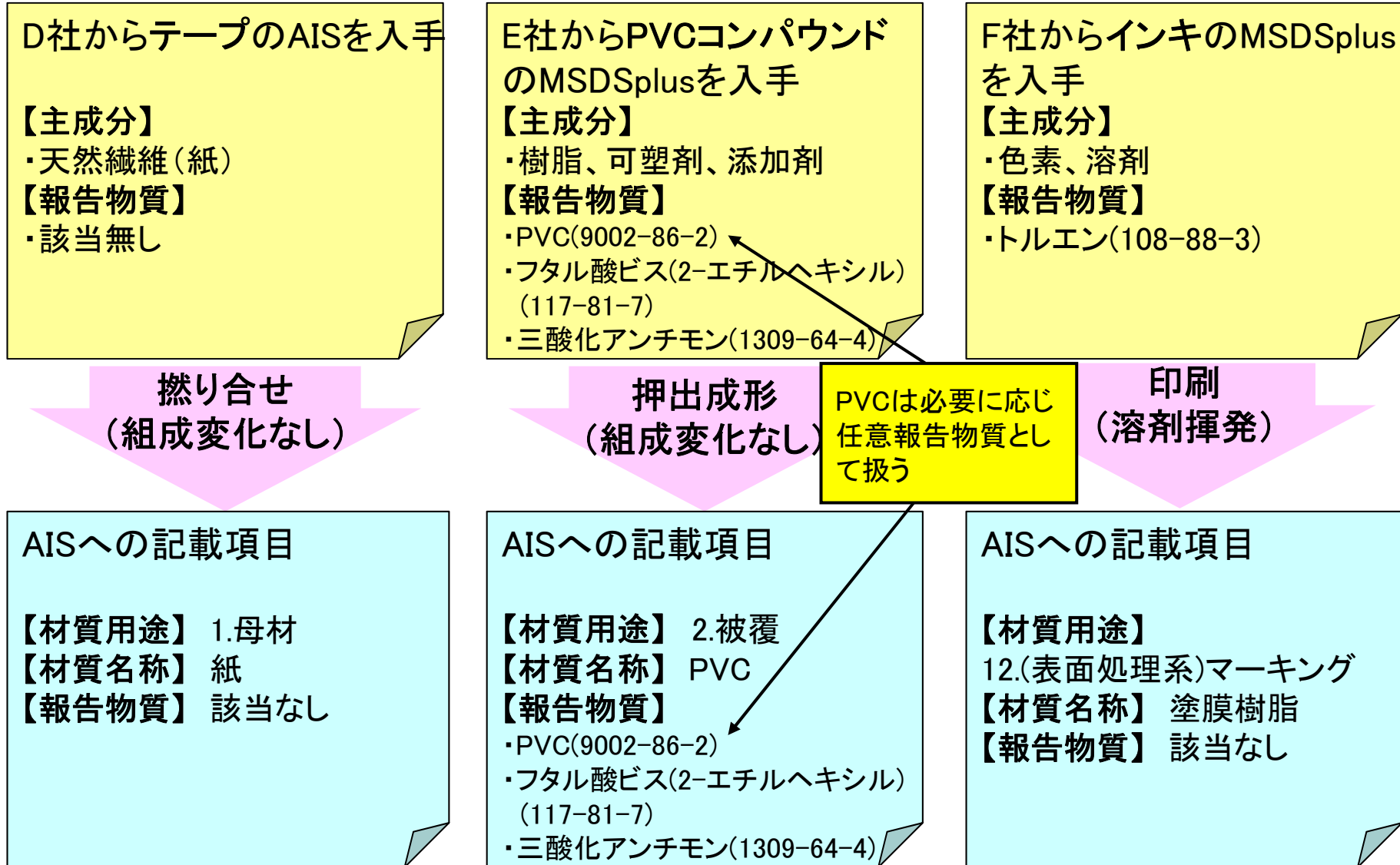




# 手順 3(2)

(ガイダンス P2 5項解説4)  
(ガイダンス P3 6-1項)

## 自社工程内での組成・化学変化を把握



## 手順 4

### 製品構成部位毎に材質、化学物質のリスト作成(下書き)

サプライヤーから収集した情報と、自工程での組成・化学変化の結果を整理するためのリスト(下書き)を作成します。フォーマットは特に限定はありません。

	部位	材料	厚さ	外径	部位質量 (g/m)	MSDSplus、AIS含有情報に加え 自社工程の組成・化学変化反映
①	導体	軟銅より線(30/0.18A)	-	1.1	14.0 (7.0/心)	銅(7440-50-8): 100%
②	絶縁体	PVCコンパウンド	0.6	2.3	9.0 (4.5/心)	PVC(9002-86-2): 60% DEHP(*) (117-81-7): 25%
③	介在	綿糸	-	4.6	5.0	なし
④	テープ	紙	0.1	4.8	2.0	なし
⑤	シース	PVCコンパウンド	1.0	6.8	20.0	PVC(9002-86-2): 55% DEHP(117-81-7): 30%、 三酸化アンチモン(1309-64-4): 2%
⑥	表示	インキ	-	-	0.0(微量)	該当なし(トルエン(溶剤)⇒揮発)

PVCは必要に応じ  
任意報告物質として扱う

(\*) DEHP: フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)

# 手順 5(1) ツールのダウンロード

「AIS入力支援ツール」を起動し、下書きから入力、選択追記

ツールをJAMPホームページよりダウンロードし、フォルダに保存後、解凍します。  
(以前ダウンロードしたツールを使用する場合、JAMPホームページで最新版確認をお願いします)

http://www.jamp-info.com/

JAMP アーティクルマネジメント推進協議会  
Joint Article Management Promotion Consortium

JAMPの紹介 入会案内 会員一覧 ツール認定企業 **ダウンロード** FAQ

JAMP 共通形式の普及によって、サプライチェーン上の情報を、円滑・  
\* JAMP共通形式は、サプライチェーンパートナーシップ基本指針に従い、管理ガイドラインに基づき、東日本大震災により、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

川上企業 川中企業 川下企業  
Substance 素材 Article 成形品 部品 Product  
Preparation 調剤

MSDSplus AIS

製品含有化学物質管理ガイドライン  
MSDSplus  
**AIS**  
管理対象物質リスト

**AIS**

AISは、JAMPが推奨する製品含有化学物質情報を伝達するための基本的な情報伝達シートであり、成形品の「質量」「部位」「材質」「管理対象法規」に該当する物質の含有有無・物質名・含有量・成形品当たりの濃度など情報を記載し、ダウンストリームユーザー(以下DSU)に伝達するために使用されます。「MSDS」および「MSDSplus」等で化学物質情報を入手したDSUは、成形品に含まれる化学物質の情報を社での加工条件による物質変化を反映・情報を交換し、「アーティクルインフォメーションシート(AIS)」にて、さらサプライチェーンの川下に位置するDSUへ伝達します。(これを原部品AISと呼ぶ)複数の原部品から構成される成形品の場合のAISは、複数の原部品AISを複合化することで作成できます。

日本語

資料名	資料概要
JAMP AIS Ver.400(日本語)最新版ダウンロードツール ダウンロード ZIP	公開: 2012年01月12日 コメント: AIS Ver.400(日本語)ツール最新版ダウンロードページのパッケージです。
JAMP AIS Ver.400(日本語)最新版ダウンロードツール ダウンロード ZIP	公開: 2012年01月12日 コメント: AIS Ver.400(日本語)最新版ツールのパッケージです。
JAMP AISとJGPPS調査回答ツールフォーマットとの整合方法に関する解説 ダウンロード PDF	公開: 2011年12月21日 コメント: JAMP AISとJGPPS調査回答ツールフォーマットとの整合方法に関する解説です。
JAMP MSDSplus、JAMP AIS ツール Ver.400(日本語)最新版ダウンロード ダウンロード ZIP	公開: 2011年12月19日 コメント: JAMP AIS/MSDSplusツールが現在のVer.31からVer.40に改題されます。この改題作業の一環として、JAMP MSDSplus、JAMP AIS ツール40の改題の裏面と材質リスト、物質用途リストの選択表を公開致しました。

### (1) 外部リストの配置(起動の前に実施すること)

ダウンロードしたファイルのうち、外部リスト(管理物質リスト)は必ず入力支援ツールと同じフォルダに保存する。

外部リストファイル名: JAMP\_MSDSplus\_AIS\_EXLIST\_111227.xls

- (注) ①入力支援ツールはVer4より、管理物質リスト等を外部ファイル化したため単独では動作しません。  
②連携動作のため、必ず同じフォルダに保存して下さい。  
③外部リストはパスワードで保護されているので単独では開けません

### (2) 起動

#### ①入力支援ツールをダブルクリック

ツールのファイル名: AIS\_input\_support\_V40.xls

#### ②マクロの有効化

Excel 2002、2003

最初に出てくる画面で[マクロを有効にする(E)]をクリック

Excel 2007、2010

Excelメニューの下にセキュリティ警告が表示されるので、[オプション]をクリック  
セキュリティオプションの画面が表示されるので、[このコンテンツを有効にする]  
を選択 (Excel 2010は「コンテンツの有効化」)

# 手順 5(3) 説明シートの機能選択

(マニュアル P3、4)

①入力支援ツールが起動されると、最初に説明シートが表示されます。

②外部リストのバージョン確認  
インターネット接続可能な状態で起動した場合、  
自動でJAMPホームページにアクセスし、  
外部リストのバージョン確認を行います。

新機能



③作業モードの選択  
[AIS編集]ボタンを押します。



JAMP AIS入力支援ツール(4.0版)

本ツールは、JAMP AISの閲覧、作成および統合化を支援するツールです。

AISをマクロ機能を用いて作成したり、既存AIS閲覧・編集するための[AIS編集]ボタンと、  
入手した統合のAISの機能を単一のAISを作成する[AIS統合化]機能が搭載されています。  
AIS編集を行う場合は、[AIS編集]ボタンを、AIS統合化を行う場合は[AIS統合化]ボタンを  
それぞれクリックして実行してください。  
※、それぞれの記入にあたっては、JAMPのWEBサイトに掲載されている作成手順書、ツール操作説明書をご覧ください。

AIS編集      AIS統合化

**ツールの動作について**

本ツールの動作環境は以下の通りです。  
Windows XP SP3以降  
Excel 2002 SP3以降  
表示解像度 1024 × 768 Pixel以上

本ツールの正常動作には、Excelマクロが有効になっている必要があります。  
Excel2003以前の標準的な環境では、起動時にマクロ実行の警告を承認されますので、有効を承認してください。  
Excel2007以降の環境をお使いの場合、起動時にマクロが自動的に有効化されている場合があります。  
お使いの環境に合わせてマクロを有効化してください。

**外部リストについて**

本ツールはバージョン4.0では、検査/検査/検査結果等の運用時等のリストを外部ファイル化したため、単独では動作しません。  
JAMPのWEBサイトに配布されている外部リストファイルを利用する場合はツールはインストールに設定してください。  
(標準的なファイル名は「JAMP AISData AIS外部リスト」です。設定する際、ファイル名を変更しないでください。)  
外部リストのバージョンは下記通りに表示されています。  
外部リスト更新の際は外部リストの更新版が配布されますので、常に最新版を使用することを推奨します。

[最新バージョンを確認]ボタンもしくは起動時に自動でJAMPのWEBサイトをチェックし、更新版が配布されているが確認できます。  
起動時の自動確認は動作設定シートで有効化できます。

外部リスト	材質リスト	2.00
	物資リスト	3.000

最新バージョンを確認

立ち上げ時の言語選択は  
なくなりました。  
日本語がデフォルトで設定  
(動作設定シートで変更可能)

# 手順5(4) 一般情報シートの入力

(マニュアル P5~8  
P26~27)

一般情報シートにAISの一般情報を入力(発行者会社情報、成形品情報等)

XML読み 一般情報シート入力		本件内をご記入ください。 * 印のある欄は必須入力です	
<b>1. AISIに関する情報</b>			
リスト	使用書式	Ver.4.0	
	材質リスト	2.00	
	物質リスト	3.000	
	CPシートID	9999999999999999	
シート管理番号			
初版	発行日付 *	2012-01-18	
改訂	改訂日付		
	改訂履歴 *	4	
<b>2. 発行者会社情報</b>			
会社名	英字表記 *	JECTEC	
	母国語表記		
会社ID	登録機関ID		
	企業ID		
発行部門	部門名 *	研究開発グループ	
	住所 *	静岡県浜松市北区新部田1-4-4	
	電話番号 *	053-428-4584	
	FAX番号	053-428-4590	
作成部門	メールアドレス	shimaura@jectec.or.jp	
	部門名		
	電話番号		
追加情報			
<b>3. 成形品情報</b>			
発行者型番	製造者会社名 *	社団法人 電線総合技術センター	
	一般商品名 *	電線コード、コネクタ付(1m)	
	英字表記 *	VCTF 3x0.75SQコネクタ付(1m)	
	母国語表記		
	製品品名・シリーズ品名		
発行者標準		JIS C 3305	

① \* は必須項目  
(未入力の場合オレンジ色)

新規

② \* 必須項目の「英字表記」欄は  
半角の英数、記号文字のみ

③ 項目が灰色の箇所はツールで  
自動設定される

④ 2. 発行者会社情報は  
「ひな形から呼び出し」機能を使  
うと効率良く入力できる。

新機能

「動作設定シート」の「B.発行者会  
社情報ひな形」欄等にあらかじめ  
入力しておく

(詳細はマニュアルP26~28)

成分表シートへの入力

成形品の構成、成分の詳細を入力するシートです。必須項目(\*マーク)は必ず入力  
 部品、材質、物質欄を入力 (階層欄は入力不要:電線は原部品のため)

4. 組成成分情報 (成分表)

成分表初期化		集計		エラーチェック		XML一時保存		XML出力	
選択行削除		仕訳情報更新							
部品		部品		材質		物質			
追加		追加		選択					
名称	数量	名称*	数量*	用途*	分類記号*	名称	質量*	単位	仕訳番号
		導体	2.0	母材	R311	銅(銅ケーブルハーネスの銅)	7.0	g	
		絶縁体	2.0	液覆	P514	PVC	4.5	g	
		介在	1.0	母材	N713	繊維			
		押えテープ	1.0	母材	N712	紙			
		シース	1.0	液覆	P514	PVC			
				ク(表面処理系)マーキング	S401	塗膜樹脂			

選択ダイアログより選択します

①

材質選択ダイアログ

Select Use & MATERIAL  
 材質用途と材質の選択

材質用途: 1 母材

②

材質: N720 セラミック, N721 ガラス, N498 その他無機化合物, N499 フィラー(充填材)を含有する熱可塑性樹脂, P511 PE, P512 PP, P513 PS, P514 PVC, P515 PC, P516 POM, P517 A(B)S, P518 PA, P519 PET, P520 PPE, P528 熱可塑性エラストマ

材質用途: 2 被覆  
 分類記号: P514  
 材質名称: PVC

③

選択 キャンセル

構造表の内容を手入力します。

成分表シートへの入力

成形品の成分の詳細を入力するシートです。必須項目(\*マーク)は必ず入力  
物質欄への入力

選択ダイアログを開き、CAS番号を入力し、当該物質を選択

構造表の内容を手入力します。

**物質選択ダイアログ**

物質表示級込み  
 EU01  EU04  OT01  
 EU02  EU05  IA01  
 EU03  EU06  IA02  
 部分一致  
 完全一致  
 検索: 117-81-7  
   
   
 並び替え  
   
 Ver.3.000

CAS番号	物質名	含有率	質量	単位	備考
7440-50-8	Copper (metallic)	100.0%	7.0	g	
002-86-2	Polyvinyl chloride (PVC)	60.0%	2.7	g	
117-81-7	Bis(2-ethylhexyl) phthalate	25.0%	1.125	g	
	Polyvinyl chloride (PVC)	55.0%	11.0	g	
	Bis(2-ethylhexyl) phthalate	30.0%	6.0	g	

物質名[英語] Bis(2-ethylhexyl) phthalate, Di(2-ethylhexyl)phthalate, DEHP  
 物質群名[英語] Certain Phthalates  
 物質名[日本語] フタル酸ビス(2-エチルヘキシル); フタル酸ジ(2-エチルヘキシル); DEHP  
 物質群名[日本語] 一部のフタル酸エステル類

EU01[2002/95/EC RoHS]  EU04[REACH Annex XVII CMR1,2以外]  OT01[ESIS PBT Fulfilled]  
 EU02[2000/53/EC ELV]  EU05[REACH SVHC in Candidate List]  IA01[GADSL]



# 手順 6(1)

(ガイドンス P4 6-2、P5 6-3項)  
(マニュアル P17)

## AIS入力支援ツールで自動集計シート作成とXMLファイル出力

成分表シートの入力完了後、「集計」ボタンをクリック。集計シートで入力結果を確認。

### 4. 組成成分情報 (成分表)

成分異時点化		<b>集計</b>		XML一時保存		XML出力				
通知		通知		通知		通知				
名称	数量	名称	数量	用途	分類記号	名称	質量	単位	公称質量	備考
		導体	2.0	1.母材	R311	銅(銅ケーブルハーネスの銅)	7.0	g		
		絶縁体	2.0	2.液層	P514	PVC	4.5	g		
		介在	1.0	1.母材	N713	繊維	5.0	g		
		押えテープ	1.0	1.母材	N712	紙	2.0	g		
		シース	1.0	2.液層	P514	PVC	20.0	g		
				12(表面処理系)マニシング	S401	塗膜樹脂	0.0001	g		

## 集計シート

### 材質情報集計結果

分類記号	材質名称	質量(g)
R311	銅(銅ケーブルハーネスの銅)	14.0
P514	PVC	29.0
N712	紙	2.0
N713	繊維	5.0
S401	塗膜樹脂	0.0001

### 物質情報集計結果

CAS番号	物質名	質量(g)	SYNO		REACH Annex		RoHS	
			該当	成製品中 割合	該当	該当	物質中 最大割合	
117-81-7	Bis(2-ethylhexyl) phthalate	8.25	1	18.5%	1	-		

# 手順 6(2) XMLファイル出力(データ保存) (ガイダンス P5 6-3項) 34 (マニュアル P21~22)

## XMLファイル出力

内容を確認後、「XML出力」ボタンをクリック

### 4. 組成成分情報 (成分表)

成分異相検出		集計		エラーチェック		XML一時保存		XML出力		
通知		通知		通知		通知		通知		
項目	異量	部品		材質		名称	重量	単位	単位換算	備考
		名称	異量	異量	分類記号					
		導体	2.0	1.母材	R311	銅(銅ケーブルハーネスの銅)	7.0	g		
		絶縁体	2.0	2.液層	PS14	PVC	4.5	g		
		介在	1.0	1.母材	N713	繊維	5.0	g		
		粘着テープ	1.0	1.母材	N712	紙	2.0	g		
		シース	1.0	2.液層	PS14	PVC	20.0	g		
				1つ(表面処理系)マーキング	SH01	塗膜樹脂	0.0001	g		

特記

[XML一時保存] ボタンで作成中に一時保存できる。  
(この場合、XML出力時と異なりエラーチェックは自動では行われない)

新機能

## AIS作成手順（その2 旧バージョン(Ver3.1)データ更新）

---

手順1

AIS入力支援ツールを起動、旧バージョンデータ読込



手順2

データ更新(物質リスト当て直し他)



手順3

XMLファイル出力

# 手順1 データの読み込み

(マニュアル P9)

ツール起動は新規の場合と同じ。旧バージョン(Ver3.1)データの読み込み

一般情報シートの[XML読み込] ボタンでデータを読み込みます。

XML読み込  
一般情報シート読み込

本件内をご記入ください。  
\* 印のある欄は必須入力です

1. AISIに関する情報

使用書式	Ver.4.0	
リスト	材質リスト	2.00
	物質リスト	3.000
シートID	9999999999999999	
シート管理番号		
初版	発行日付 *	2012-01-18
改訂	改訂日付	
	改訂履歴 *	4

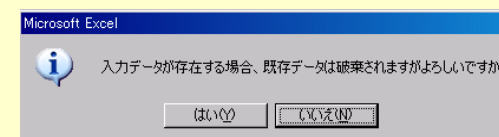
2. 発行者会社情報

会社名	英字表記 *	JECTEC
	母国語表記	
会社ID	登録機関ID	
	企業ID	
発行部門	部門名 *	研究開発グループ
	住所 *	静岡県浜松市北区新部田1-4-4
	電話番号 *	053-428-4584
	FAX番号	053-428-4590
	メールアドレス	shimaura@jectec.or.jp
作成部門	部門名	
	電話番号	
	追加情報	

3. 成形品情報

製造者会社名 *	社団法人 電線総合技術センター	
一般商品名 *	電線コード、コネクタ付(1m)	
発行者型番	英字表記 *	VCTF 3ax0.75SQコネクタ付(1m)
	母国語表記	
	製品名・シリーズ名	
	発行者番号	JIS C 3305

①「入力データが存在する場合、既存データは破棄されますがよろしいですか」のボックスが現れるので[はい(Y)]を選択



②表示が成分表シートに代り、「読み込みが完了しました」のボックスが現れたら読み込み完了



③一般情報シートで会社名、製品名等で当該データであることを確認

# 手順 2(1)データ更新

(マニュアル P20)

## 成分表シートでエラーチェックを行い更新箇所を特定

### 4. 組成成分情報 (成分表)

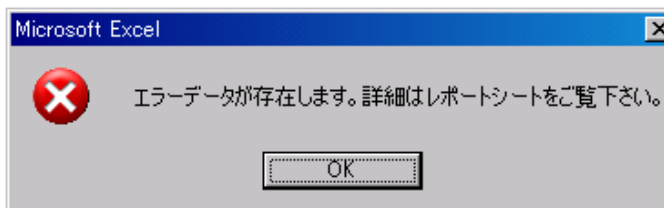
成分表情報化 実行 実行行南緯 更新情報更新 エラーチェック XML一時保存 XML出力

品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名
通知	通知	通知	通知	通知	通知	通知	通知	通知	通知	通知
名称	単位	名称	単位	名称	単位	名称	単位	名称	単位	備考
		鋼体	2.0	1.母材	R311	鋼(鋼心・ケーブルハーネスの鋼)	7.0	g		
		絶縁体	2.0	2.液體	P514	PVC	4.5	g		
		介在	1.0	1.母材	N713	繊維	5.0	g		
		糸テープ	1.0	1.母材	N712	紙	2.0	g		
		シース	1.0	2.液體	P514	PVC	20.0	g		
				17 (表面処理系) マーキング	S401	塗膜樹脂	0.0001	g		

## レポートシートが自動で現れ、エラー項目が表示される

チェック結果

No.	種別	シート	行番号	項目名	内容
1	エラー	一般情報	6	使用書式	このAISは旧版であるため、このまま出力はできません。物質情報更新を行い書式バージョンを更新してください。
2	エラー	一般情報	16	会社名/英字表記	会社名/英字表記は200文字以下の半角英数字で入力してください。
3	エラー	成分表	11	JIG/該当	JIG 該当記号には「B」、「J」、「A」のいずれかを入力、または空白にしてください。
4	エラー	成分表	12	SVHC/該当	REACH SVHC 該当記号には「C」、「A」のいずれかを入力、または空白にしてください。
5	エラー	成分表	12	JIG/該当	JIG 該当記号には「B」、「J」、「A」のいずれかを入力、または空白にしてください。
6	エラー	成分表	15	JIG/該当	JIG 該当記号には「B」、「J」、「A」のいずれかを入力、または空白にしてください。
7	エラー	成分表	16	SVHC/該当	REACH SVHC 該当記号には「C」、「A」のいずれかを入力、または空白にしてください。
8	エラー	成分表	16	JIG/該当	JIG 該当記号には「B」、「J」、「A」のいずれかを入力、または空白にしてください。
9	エラー	成分表	17	JIG/該当	JIG 該当記号には「B」、「J」、「A」のいずれかを入力、または空白にしてください。



## 手順 2(2)データ更新

エラー項目毎に、追記・修正・更新を行う

No.	種別	シート	行番号	項目名	対応例
1	エラー	一般情報	6	使用書式	成分表シートの[物質情報更新]ボタンで自動更新
2	エラー	一般情報	16	会社名/英字表記	英文名に変更(ひな形機能が便利)
3	エラー	成分表	11	JIG/該当	成分表シートの[物質情報更新]ボタンで自動更新
4	エラー	成分表	12	SVHC/該当	
5	エラー	成分表	12	JIG/該当	
6	エラー	成分表	15	JIG/該当	
7	エラー	成分表	16	SVHC/該当	
8	エラー	成分表	16	JIG/該当	
9	エラー	成分表	17	JIG/該当	

#### 4. 組成成分情報(成分表)

成分表初期化		会社		エラーチェック		XML一時保存		XML出力	
選択行削除		物質情報更新							
階層		部品		材質					
追加		追加		選択		追加			
名称	員数	名称*	員数*	用途*	分類記号*	名称	買重*		
		導体	2.0	1.母材	R311	銅(例,ケーブルハーネスの銅)	7.0	g	
		絶縁体	2.0	2.被覆	P514	PVC	4.5	g	

## 手順 2(3)データ更新

### [集計] ボタンで再集計し、内容確認

4. 組成成分情報(成分表)

成分表初期化    **集計**    物質情報更新    エラーチェック    XML一時保存    XML出力

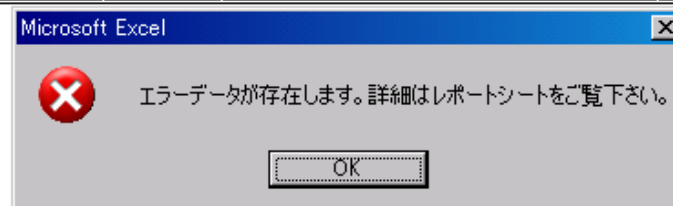
選択行削除

階層		部品		材質			
追加		追加		選択		追加	
名称	員数	名称*	員数*	用途*	分類記号*	名称	質量*
		導体	2.0	1.母材	R311	銅(例ケーブルハーネスの銅)	7.0 g
		絶縁体	2.0	2.被覆	P514	PVC	4.5 g

### [エラーチェック] ボタンで再度エラーチェック

#### チェック結果

No.	種別	シート	行番号	項目名	内容
1	警告	一般情報	39	質量	材質質量合計が成形品質量を超えています。
2	エラー	成分表	11	任意報告物質/該当	各報告物質にひとつも該当がない場合、任意報 ください。
3	エラー	成分表	15	任意報告物質/該当	各報告物質にひとつも該当がない場合、任意報 ください。



## 手順 2(4)データ更新

### エラー項目毎に、再度修正・更新を行う

No.	種別	シート	行番号	項目名	内容
1	警告	一般情報	39	質量	材質質量合計が成形品質量を超えています。
2	エラー	成分表	11	任意報告物質/該当	各報告物質にひとつも該当がない場合、任意報告物質 該当記号は「1」と入 ださい。
3	エラー	成分表	15	任意報告物質/該当	各報告物質にひとつも該当がない場合、任意報告物質 該当記号は「1」と入 ださい。

3. 成形品情報

製造者会社名 *	電線総合技術センター	
一般商品名 *	ビニルキャブタイヤ丸形コード	
発行者型番	英字表記 *	VCTF 2X0.75mm2
	母国語表記	
製品名・シリーズ名		
発行者番号	JIS G 3305	

4. 組成成分情報 (成形品)

成形品	報告単位 *	m
	質量 *	50.0
	質量単位 *	g
組成成分情報に関する宣言 *		1. 本製品は、記載のとおり報告物質該当法令等に該当する物質の含有を確認しております。
合計		50.0001g

①一般情報シートの4項質量欄を確認、黄色になり合計質量不一致の警告が出ている

名称 *	員数 *	用途 *	分類記号 *	名称	質量 *	単位 *
導体	2.0	1.母材	R311	銅(例、ケーブルハーネスの銅)	7.0	g
絶縁体	2.0	2.被覆	P514	PVC	4.5	g
介在	1.0	1.母材	N713	繊維	5.0	g
押えテープ	1.0	1.母材	N712	紙	2.0	g
シース	1.0	2.被覆	P514	PVC	20.0	g
		12 (表面処理系) マーキング	S401	塗膜樹脂	0.0001	g

②成分表シートで部位質量の合計を確認すると、50.0001gとなっている。

合計と一致させるため、シースのPVC質量を修正  
20.0g → 19.9999g



# 手順 2(5)データ更新

## エラー項目毎に、再度修正・更新を行う

No.	種別	シート	行番号	項目名	内容
1	警告	一般情報	39	質量	材質質量合計が成形品質量を超えています。
2	エラー	成分表	11	任意報告物質/該当	各報告物質にひとつも該当がない場合、任意報告物質 該当記号は「1」と入 ださい。
3	エラー	成分表	15	任意報告物質/該当	各報告物質にひとつも該当がない場合、任意報告物質 該当記号は「1」と入 ださい。

用途 *	分類記号 *	名称	CAS番号	物質名	含有率
1.母材	R311	銅(鋼ケーブルハーネ スの銅)	7440-50-8	Copper	100.0%
2.被覆	P514	PVC	9002-86-2	Polyvinyl chloride (PVC)	60.0%
			117-81-7	Di(2-ethylhexyl) phthalate; Di(2-ethylhexyl)phthalate; DEHP	25.0%
1.母材	N713	繊維			
1.母材	N712	紙			
2.被覆	P514	PVC	9002-86-2	Polyvinyl chloride (PVC)	55.0%
			117-81-7	Di(2-ethylhexyl) phthalate; Di(2-ethylhexyl)phthalate; DEHP	30.0%
			1309-64-4	Diantimony trioxide	2.0%

PVCが管理対象物質から外れ、任意報告物質となり修正が必要となった。

**選択肢**

①任意報告物質として伝達する場合  
任意報告物質該当欄に「1」を入力

②PVCを報告しない場合  
[選択行削除]ボタンで当該行を削除  
(材質としてのPVCは伝達される)

報告物質該当法令等																				
SVHC		DLP Annex VI DMF 1,2				REACH Annex XVII		REACH Annex VIII		ELV		RoHS		GHSCL		SG		任意報告物質		
該当	備考	該当	備考	該当	備考	該当	備考	該当	備考	該当	備考	該当	備考	該当	備考	該当	備考	該当	備考	

①の場合「1」  
を入力

# 手順 3 データ更新確認とXML出力

(マニュアル P21)


再度[集計]、[エラーチェック]を行い、下記画面が出たらOK。  
[XML出力] ボタンでXML出力

## 4. 組成成分情報 (成分表)

成分表機能化 集計 通知行削除 仕訳情報更新 エラーチェック XML一時保存 **XML出力**

階層		部品		材質					物質		
通知		通知		通知	通知				通知		
名称	数量	名称 *	数量 *	用途 *	分類記号 *	名称	数量 *	単位 *	仕訳記号	備考	CAS番号
		導体	2.0	1.母材	R311	銅(例:ケーブルハーネスの銅)	7.0	g			7440-50-8
		絶縁体	2.0	2.液體	PS14	PVC	4.5	g			9002-86-2 117-81-7
		介在	1.0	1.母材	N713	繊維	3.0	g			
		押えテープ	1.0	1.母材	N1212	紙	2.0	g			
		シース	1.0	2.液體							9002-86-2 117-81-7 1309-64-4
				12. [マ...							

Microsoft Excel

 エラーチェックが完了しました。入力はすべて正常です。

OK

## 1. PVCコンパウンドの着色

本事例では、説明簡略化のため色ごとの着色剤成分を無視していますが、実際の製品では色ごとに着色剤の含有成分が異なります。着色方式によってそれぞれ色ごとのMSDSplusを入手し成分確認を行なってください。確認方法は着色方式により異なります。

### (1) カラー(着色)コンパウンド方式

色ごとに、PVCコンパウンドのMSDSplusを入手し成分確認を行なってください。色によって報告物質が異なる場合、次のように絶縁体を色ごとに分けて記載します。

色ごとに報告物質が異なる場合の記載例

	部位	材料	厚さ	外径	部位質量 (g/m)	MSDSplus、AIS含有情報に加え 自社工程の組成・化学変化反映
	絶縁体 (黄)	PVCコンパウンド(黄)	0.6	2.3	4.5	PVC(9002-86-2): 60% DEHP(117-81-7): 25% クロム酸鉛(1344-37-2): 0.5%
	絶縁体 (黒)	PVCコンパウンド(黒)	0.6	2.3	4.5	PVC(9002-86-2): 60% DEHP(117-81-7): 25%

### (2) マスターバッチ(着色)方式

PVCコンパウンド(ナチュラル)とマスターバッチ(各色)のMSDSplusをそれぞれ入手し成分確認を行なってください。配合比率に基づき、各々の含有成分から絶縁体中の含有率を計算し記載します。

色ごとに報告物質が異なる場合は(1)の事例と同様に記載します。

<参考>着色方式の違いによる詳細説明は、JAMPの下記ガイダンスを参照下さい。

「製品含有化学物質の管理および情報伝達・開示に関するガイダンス  
成型工程—熱可塑性樹脂の射出成型工程—」 第1版

### 2. インキ

マーキングのインキは付着量が極微量であり、量の把握が困難であることから、「材質質量」欄記載範囲の最小値“0.0001”を記載します。

但し、報告物質が含まれている場合は必要に応じて付着量を推定し、それに基づき記載することが望ましい。

<参考>インキ付着料の算定については、JAMPの下記ガイダンスを参照下さい。

「製品含有化学物質の管理および情報伝達・開示に関するガイダンス 塗装・印刷工程」 第1版

<参考> JAMP発行のAIS関連の主な文書、ツール類 2012/1/24現在

対象	名称(バージョン)	内容
AIS	JAMP AIS Ver.4準拠入力支援ツール	AIS作成支援ツール(エクセルマクロ)
	外部リスト(管理対象物質)	AIS作成支援ツールの動作時にツールが参照するファイル。ツールと同じフォルダにて使用
	JAMP AIS作成手順書 Ver.4*準拠	AISの作成手順書
	JAMP AIS入力支援ツールVer.4.0 操作説明書	AISの作成支援ツールの操作説明書
	JAMP AIS材質分類リスト(Ver.2.00)	AISに記載する材質分類の説明とリスト
	JAMP AIS物質用途リスト(Ver.1.00)	AISに記載する用途、除外、適合などの 選択肢リスト
管理対象物質	JAMP管理対象物質参照リスト Ver. 3.000	法規性別管理物質一覧表 (エクセルファイル)
	JAMP管理物質Ver.3.000説明書	基準と運用上の注意事項等の説明
	JAMP管理物質解説書(第3版)	方針や改定方法など基本的な事項

# 目次

---

- (1) 電線業界における製品含有化学物質の取り組み
- (2) 電線版ガイダンス(第5版)の改訂内容
- (3) JAMP AISの概要と作成手順
- (4) (参考資料)フタル酸系可塑剤の規制情報  
(成形品への含有規制)**

本情報には、審議中等まだ確定されていない情報が含まれています。また、和訳、要約の過程で細部については割愛しています。  
法律の内容・解釈については常に最新の情報を参照され、必ず原文等にてご自身または、個社にてご確認下さい。

## 参考資料 フタル酸系可塑剤の規制情報(1)

### EUの法規制(1)

#### (1)玩具指令(2005/84/EC)

対象物質	規制内容
DEHP、DBP、BBP	玩具、子供用品に使用禁止(閾値0.1%)
DINP、DIDP、DNOP	玩具、子供用品の口に入る用途に使用禁止(閾値0.1%)

略号	物質名(例)	CAS番号
DEHP	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	117-81-7
DBP	フタル酸ブチルベンジル	84-74-2
BBP	フタル酸ジブチル	85-68-7
DINP	フタル酸ジイソノニル	28553-12-0、68515-48-0
DIDP	フタル酸ジイソデンシル	267761-40-0、68515-49-1
DNOP	フタル酸ジ-n-オクチル	117-84-0

EUの法規制(2)

(2) REACH規則 (EC No.1907/2006)

① 認可対象候補物質 (SVHC)

対象物質	規制内容
DEHP、DBP、BBP (1次)	成形品に含有している場合、含有情報を伝達 (閾値0.1%)
DIBP (2次)	
DHNUP、DIHP (5次)	
DMHP (6次)	

② 認可対象物質 (附属書XIV)

対象物質	規制内容
DEHP、DBP、BBP	認可された用途以外は使用禁止 (但し、成形品は対象外)



EUの法規制(3)

(2) REACH規則( EC No.1907/2006)

③ 制限物質(附属書XVII)

対象物質	規制内容
DEHP、DBP、BBP	玩具、子供用品に使用禁止(閾値0.1%)
DINP、DIDP、DNOP	玩具、子供用品の口に入る用途に使用禁止(閾値0.1%)

現時点の内容は玩具指令に同じ

特記:

現在デンマークより規制追加提案が提出されパブリックコメント募集中(締切り3/16)

対象物質: DEHP、DBP、BBP、DIBP

規制内容: 屋内で使用する成形品、皮膚や粘膜に直接接触する成形品

(具体例: 電機電子機器、屋外使用以外の電線)

## 参考資料 フタル酸系可塑剤の規制情報(4)

## USAの法規制

## CPSC Improvement Act(2008)

対象物質	規制内容(2009年より)
DEHP、DBP、BBP	玩具、子供用品に使用禁止(閾値0.1%)
DINP、DIDP、DNOP	玩具、子供用品の口に入る用途に使用禁止(閾値0.1%)

## 特記

- 1 内容はEU玩具指令に同じ
- 2 カナダ、アルゼンチン、ブラジル、中国もほぼ同様の規制

## 参考資料 フタル酸系可塑剤の規制情報(5)

### 韓国の法規制

#### 品質経営及び工業産品安全管理法

対象物質	規制内容 (2007年より)
DEHP、DBP、BBP	玩具、子供用品に使用禁止(閾値0.1%)

#### 現在検討中の規制内容

- 1 PVC床材、壁紙での上記3物質の使用を総量で0.1%以下に規制
- 2 PVCオンドル床材へのフタル酸系可塑剤の規制

日本の法規制

食品衛生法

対象物質	規制内容 (2003年より)
DEHP (DOP)	油脂又は脂肪性食品を含有する食品に接触する器具、食品包装にはDOPを原材料として用いたPVCを主成分とする合成樹脂を禁止
DEHP (DOP)、DINP	おもちゃには、DOP、DINPを原材料として用いたPVCを主成分とする合成樹脂を禁止 (DOPはおもちゃ全般、DINPは口に入れる用途)

特記

DEHP(DOP)は上記のほか、改正化審法(優先評価化学物質)、労働安全衛生法(通知物質、有害性ばく露作業報告対象物質)に規定があるが、化学物質の取扱上の規制で、成形品への規制ではない。

## 参考資料 フタル酸系可塑剤の規制情報(物質別1)

DEHP (DOP) フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)  
CAS番号117-81-7  $C_{24}H_{38}O_4$

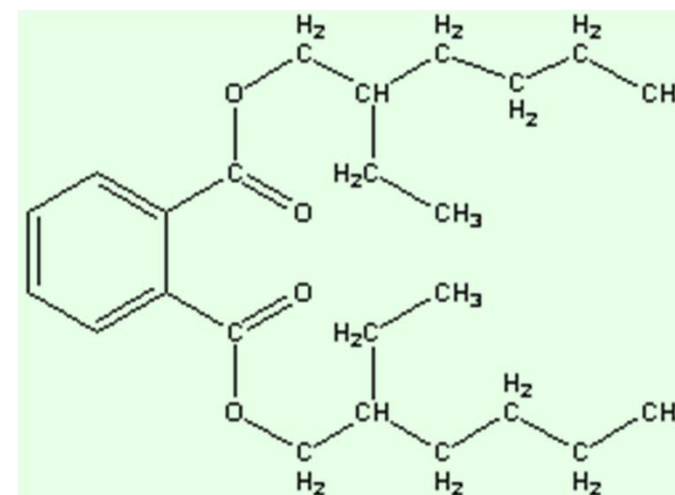
### 法規制情報

EU REACH SVHC、認可対象物質  
制限物質(玩具用品に規制)

玩具指令(玩具用品に規制)

USA CPSC Improvement Act 玩具用品規制

日本 食品衛生法 (食品、おもちゃに規制)



### 用途情報

塩化ビニル可塑剤、ゴム可塑剤、接着剤、インキ、ペンキ  
接着剤、リーリング剤、ペンキ、インキ等

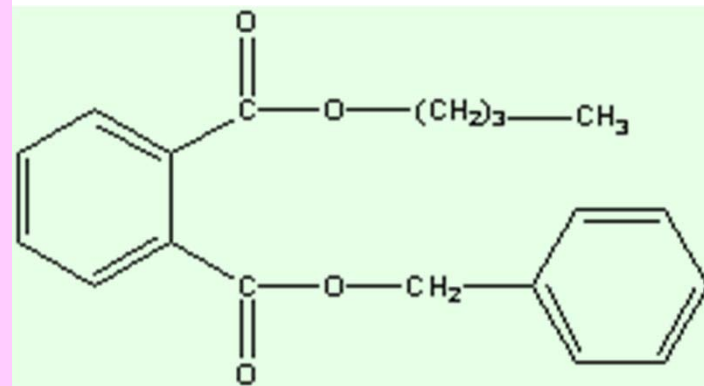
BBP フタル酸ブチルベンジル  
CAS番号85-68-7 C<sub>19</sub>H<sub>20</sub>O<sub>4</sub>

### 法規制情報

EU REACH SVHC、認可対象物質  
制限物質(玩具用品に規制)

玩具指令(玩具用品に規制)

USA CPSC Improvement Act 玩具用品規制



### 用途情報

顔料、塗料 合成樹脂/合成繊維 可塑剤  
日本での使用は少ない

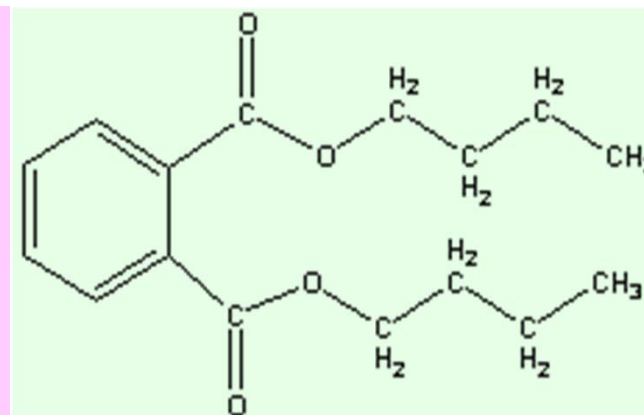
BBP フタル酸ジブチル  
CAS番号84-74-2  $C_{16}H_{22}O_4$

### 法規制情報

EU REACH SVHC、認可対象物質  
制限物質(玩具用品に規制)

玩具指令(玩具用品に規制)

USA CPSC Improvement Act 玩具用品規制



### 用途情報

顔料、塗料 合成樹脂/合成繊維 可塑剤、絶縁テープ、チューブ  
接着剤、合成皮革、香料の溶剤、繊維用潤滑剤  
日本での使用は少ないと推定される



**ご清聴ありがとうございました。**